

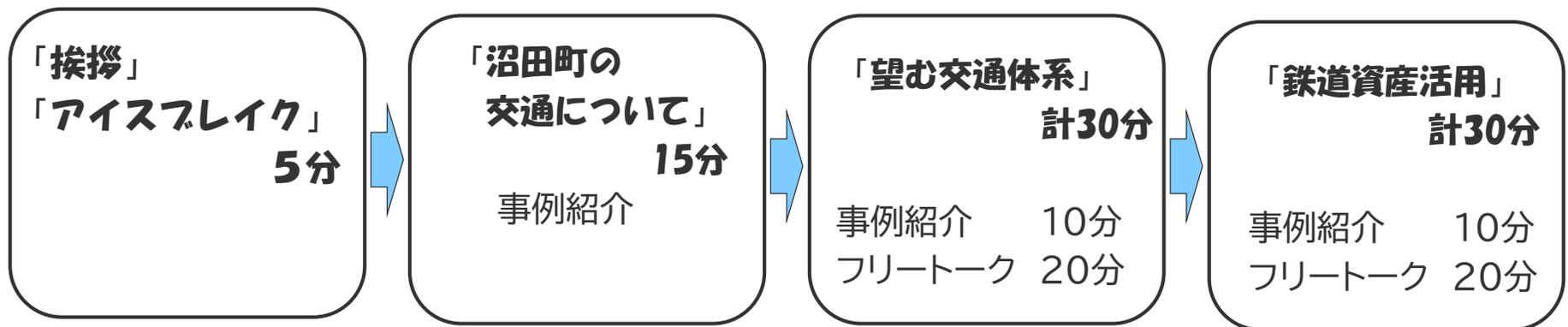
第2回

次世代交通とまちづくりワークショップ

“みらいとーく” (開催結果)

R5.3.27 ふれあい すこやかホール 19:00～

本日の進行



アイスブレイク～自己紹介～

○お名前

○ご職業

○最近あった良いこと

(or 最近食べて美味しかったもの)

グランドルール

○大き目の声で話して

○自由な発言(直感)でOK

○なるべく簡潔に

ワークショップの目的

約3年後、JR留萌本線廃線後の
沼田町のまちづくりを町民の皆さんに伺いたい。

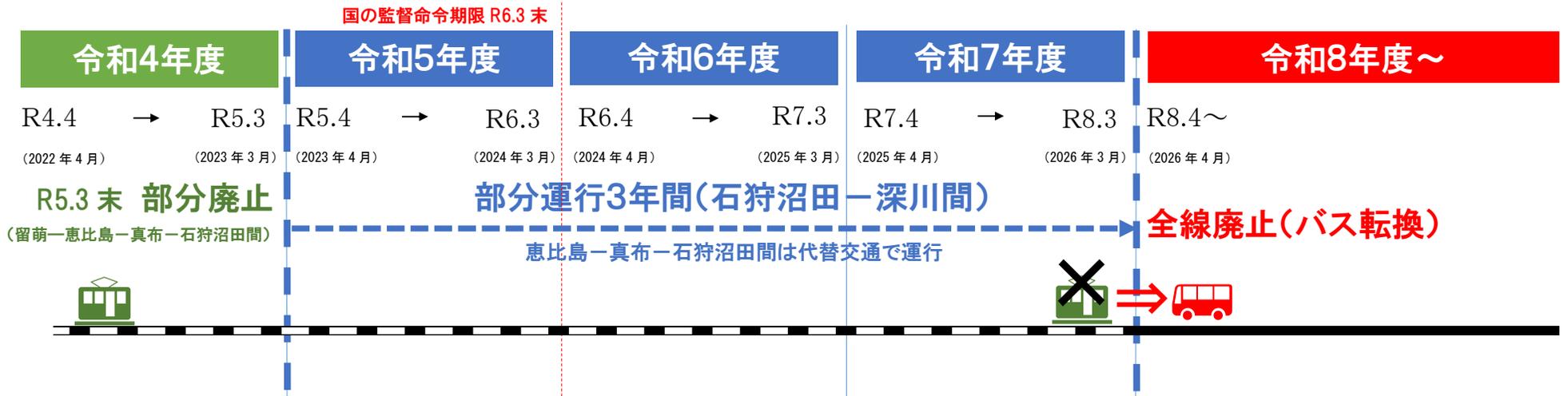
令和5年度3回程度
のワークショップを行う予定

沼田町の交通について

留萌本線を巡る状況概要①

JR北海道からの提案

令和4年7月21日



提案内容

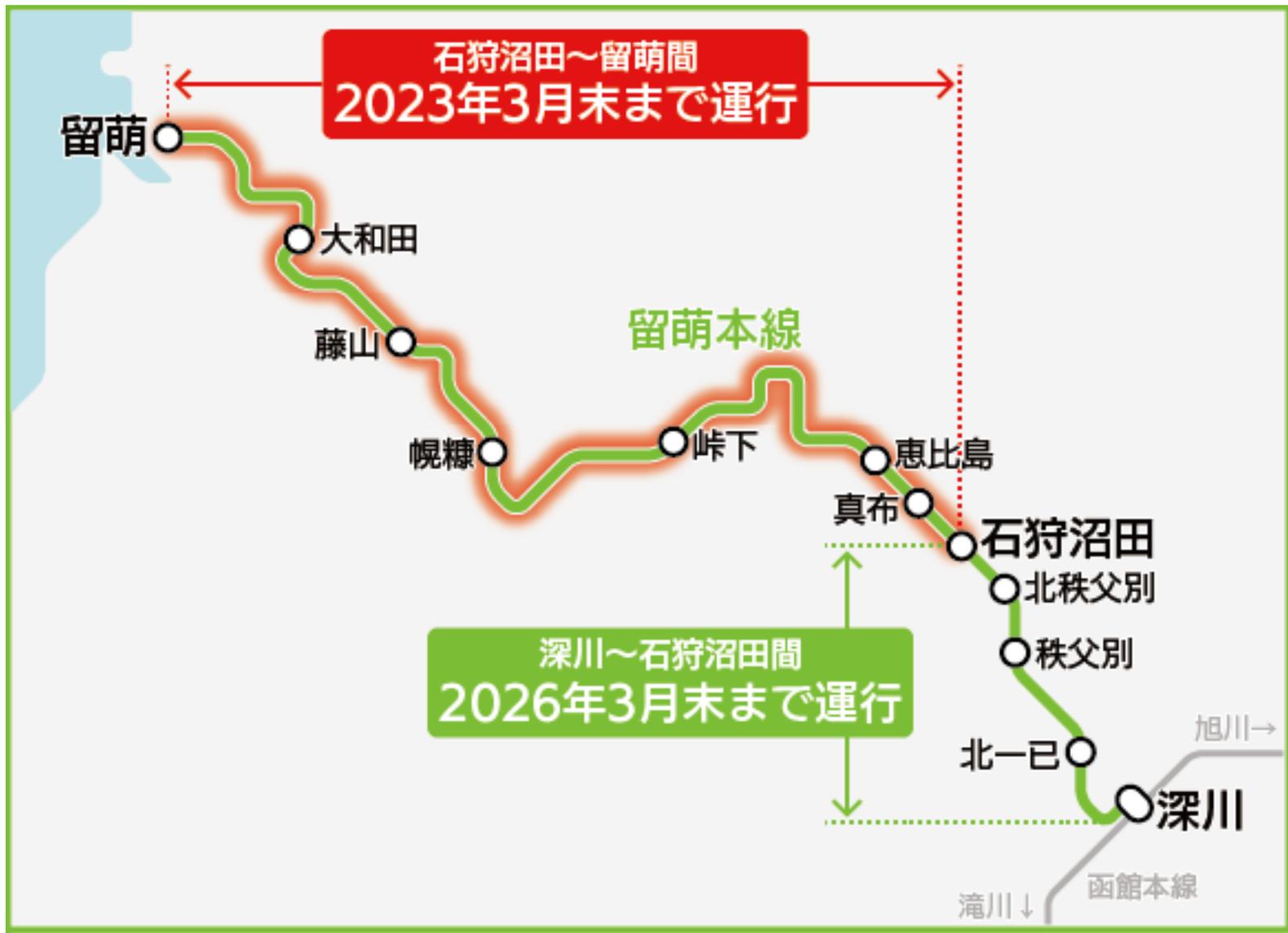
1. 石狩沼田・留萌間は令和5年3月末まで運行し廃止
2. 深川・石狩沼田間は令和8年3月末まで運行し廃止(部分運行は3年間)
3. これらの廃止時期をセットで合意

その他

- ◇部分運行期間中の運行費用と折返設備の費用はJR北海道が全額負担。(地域の負担は一切なし)
- ◇ご利用の少ない列車については、車両の制約から、令和6年春以降見直しを行う可能性がある。
- ◇代替交通支援は、鉄道廃止日を起算とする。(最大18年間)
- ◇まちづくり支援は、直近の事例にならない1自治体あたり約7,000万円とする。

沼田町役場 JR留萌本線対策室

留萌本線を巡る状況概要②



現在の沼田町の交通について

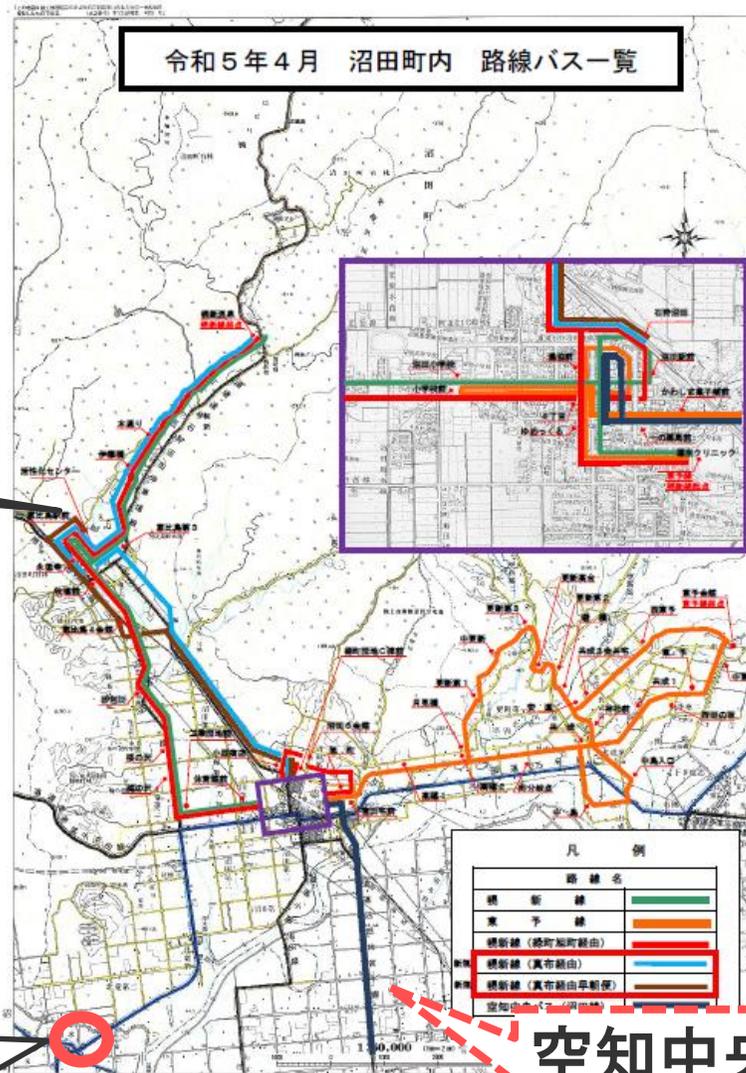
- ①町内の移動 沼田町営バス
 幌新線 8便(休日5便)
 東予線 3便(休日無し)
- ②町内↔町外 空知中央バス
 沼田線 平日5便(休日3便)

※補完として、60歳以上・自己所有の自動車無しの方を対象に

③乗り合いタクシー 8時～19時 1時間単位

※18時-19時便無し

沼田町営バス・空知中央バスの路線図



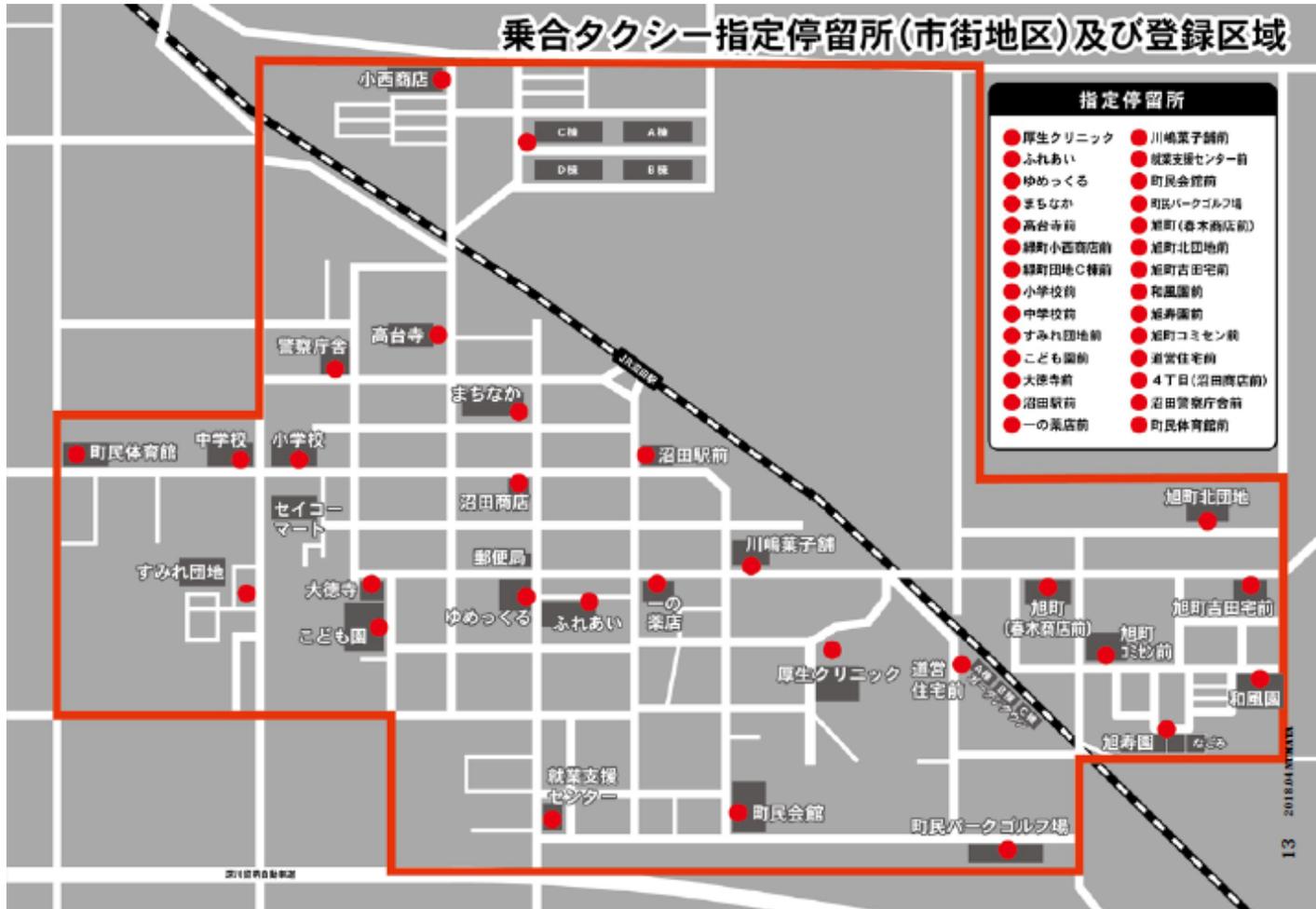
幌新線 8便(休日5便)

東予線 3便(休日無し)

乗合いタクシー(碧水)
10便

空知中央バス
沼田町 ↔ 秩父別町 ↔ 深川市

乗合いタクシーの区域図



+ 郊外の公共施設等・墓地・北竜町（碧水のみ）

問4 問3であがったテーマのうち、沼田町で優先して考えていくテーマは何ですか？(理由付きで)

●優先テーマ

みらいとーく参加者目線の公共交通を含めたまちづくり

(理由)

- ・町外からの移住者、観光者目線でも考える必要があるため。
- ・住んでいる人が使いやすい公共交通を考える必要があるため。

●優先テーマ

成功事例を参考にした季節性・一過性ではない鉄道資産活用

(理由)

- ・手押し貨車のような取り組みを行っている事例があるため。
- ・「あんどん祭り」や「ほたる」などの資源は重要であるが、通年ではないため。

本日の目標

令和5年度のみらいと一くで取り扱う

「取り組み内容」

を決める。

望む交通体系について

参加者目線で

「望む交通体系」 事例紹介

- ・士別市 「<乗合>習い事応援タクシー_{実証実験}」
- ・網走市 「どこバス_{実証実験}」
- ・江差町 「江差マース_{実証事業}」

士別市 「<乗合>習い事応援タクシー実証実験」

実証実験をやっています 習い事応援タクシー

少年団活動や習い事などへの「送り」にかかる保護者の皆さんの負担を軽減する取り組みとして「習い事応援タクシー」の実証実験を行います。利用には事前登録が必要ですので、「士別ハイヤー公式LINE」と友だち登録をして、利用者登録をお願いします。利用者登録時に利用曜日や乗降場所を指定してください。

- 【利用者登録期間】 9月20日から12月31日
- 【運行予定期間】 11月1日～1月31日の平日
(予算に応じて延長・短縮の場合あり)
- 【利用運賃】 100円/1乗車

利用者登録の方法

① 士別ハイヤー
公式LINE
と友だち登録



士別ハイヤー公式LINE

② google フォーム
で利用者登録

登録完了!!



登録内容は、毎週のスケジュール予約として取り扱います。キャンセルや変更は、乗車当日の正午までに公式LINEにメッセージを送信してください。

この乗合タクシーは習い事開始時間に合わせて運行時刻を設定しています。全員が習い事に遅れる事の無いよう、時間厳守のご協力をお願いします。

<乗合>習い事応援タクシー実証実験 使い方

利用者登録をした内容で【毎週】自動予約されています。

お休みする場合のみ、当日の正午までに公式LINEにてお知らせください

※お休みの連絡方法はページ下部を確認下さい

01.
待つ
乗る

予約時間に習い事の準備を済ませ、乗車場所でタクシーを待っていてください。乗合タクシーの為、タクシーが到着したらスムーズに乗車できるようご協力をお願いします。

※乗合タクシーの為、予約時間が多少前後します。ご了承ください。



02.
伝える
払う

タクシーに乗車したら、ドライバーへ自分の名前と行先を伝え利用料100円を渡してください。
「山田花子です。総合体育館までお願いします。」

※ドライバーは行先を把握していますが、確認の為に毎回名前と行先をお知らせください。



03.
降りる
入る

目的地へ到着しタクシーから降りたら、まっすぐに施設内へ入ってください。ドライバーは施設内へ入るまで見守ります。



お休み・乗降車場所変更等の連絡方法



【公式LINEのメッセージから送信してください。】

お休みの場合 (当日の正午までに)
「山田花子です。11/2 (水) お休みします。」

変更の場合 (前日までに)
「山田花子です11/2 (水) は総合体育館で降ります。」

士別市 「<乗合>習い事応援タクシー」実証実験

【習い事応援タクシー】郊外地域時刻表

現在運行中の便をもとに郊外地域便を設定しました
乗合タクシーの為、お時間の指定は出来かねます。あらかじめご了承ください。

※時刻は目安です

		朝日町					多寄町					温根別町		
		市街地発	朝日町着				市街地発	多寄町発着	市街地着				温根別発	市街地着
月				月						月				
火				火						火				
水	15:20	15:55		水	15:30	16:00	16:30			水				
木				木	18:30	19:00	19:30			木				
金				金						金	18:00	18:30		

乗車希望の方は公式LINEからお問い合わせください

・ 網走市 「どこバス実証実験」

・ AIデマンドバス：網走市「どこバス」



デマンドバス運行実証実験事業

実証期間：2020年（令和2年）8月～2023年（令和5年）3月

暮らし



網走市

目的

将来にわたり持続可能な公共交通システムの形成につながるための選択肢を検討することを目的とする。

背景・課題

- 人口減少・少子高齢化を背景に、バス等利用者の減少に伴う路線の赤字、運転手等の働き手不足、高齢者の交通弱者の孤立などの課題が顕在化してきている。現状のままでは、公共交通が維持できなくなり、孤立する交通弱者が増加するおそれが高い。
- 市内路線バスの運行状況として、朝夕などの時間帯は、通学、通院、通勤などにより、一定の利用者がいるが、その他の時間帯では、利用が少ない状況が続いており、利用者からは、便数が少ないことや、バス停までの距離が遠いなどの不満の声がある。

事業のポイント

今回の実証実験で使用している「AI運行バスシステム」は、リアルタイムに発生する乗降リクエストに対して、AIを使い膨大な計算量から効率的な車両・ルート（乗り合わせる組合せ）をリアルタイムに算出することができる。

期待される効果

- 地域公共交通の維持・最適化
- 車両維持費の削減
- 車両運用の効率化

推進体制

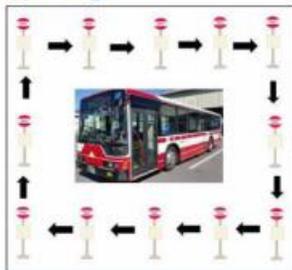
実証運行全体のコーディネート：網走市
バスの運行：網走バス株式会社
システムの開発：株式会社NTTドコモ

概要

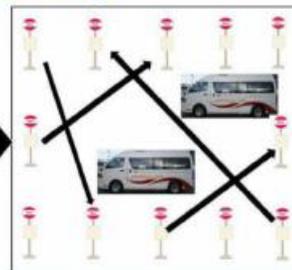
利用者が呼びたいタイミングでインターネットや電話で予約することで、リアルタイムに最適な車両配車を行うことができる。これにより、利用者はこれまでの定時定路線型バスとは異なり、時刻表に縛られることなく、乗りたいときに乗車し、行きたい目的地に移動することができて、利用者のいないバス停を経由せず、効率的な車両運行が可能となる。

「どこバス」は利用者の利便性向上と車両運行の効率化を実現する可能性があり、持続可能な地域公共交通の構築に向けた新たな交通手段として期待される。

【路線バス】



【どこバス】



担当者より 利用者の意見等を参考にしながら、より利用しやすい運行エリアや利用料金を検討していきたい。

出典：北海道Society5.0事例集（網走市・デマンドバス運行実証実験）
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/df/casestudies/abashiri01.html>

・ 網走市 「どこバス実証実験」

これまで網走市内では、朝・夕方以外の時間帯の路線バスの利用者が少ないことなどの課題があり、また利用者からもバス停の設置場所が遠いことや路線バスの便数が少ないことに不満の声をいただいております。この課題解決や今後の更なる利用者数減少を見据え、持続可能な地域公共交通の構築をめざし、「どこバス」の実証実験に取り組みます。なお、今回の実証実験の事業主体は網走市、運行事業者は網走バス、ドコモの「AI運行バス」システムを使用します。

「AI運行バス」システムは、乗りたいときに行きたい場所まで自由に移動できるオンデマンド交通システムとしてドコモが2019年4月に全国で商用開始したサービスです。リアルタイムに発生する乗降リクエストに対して、AIを使い膨大な計算量から効率的な車両・ルート（乗り合わせる組合せ）をリアルタイムに算出します。お客さまがスマートフォンのアプリや電話から行った予約をもとにAIが車両配車を行うことで、お客さまにとって効率的な移動を実現します。

「どこバス」は「AI運行バス」システムを用いて、利用者が呼びたいタイミングで専用のWebアプリや電話で予約することで、リアルタイムに最適な車両配車を行います。これにより利用者はこれまでの定時定路型バスとは異なり、時刻表に縛られることなく、乗りたいときに乗車し、行きたい目的地に移動することができます。実証実験では既設のバス停82ヵ所に加え、仮設のバス停を26ヵ所設けることで、課題であった近隣住民の皆様の利便性向上を実現し、利用者のいないバス停を経由せず、効率的な車両運行が可能になります。なお、実証実験期間中は1回300円（税込）で利用でき、ドコモショップ網走つくしヶ丘店・ドコモショップオホーツク網走店・網走バスターミナルでは、1か月間乗降が自由にできる1か月間乗り放題サービス券を3,000円（税込）で販売します。なお、ドコモショップでは専用Webアプリの使い方をスマホ教室（無料）でご案内します。

「どこバス」は利用者の利便性向上と車両運行の効率化を実現する可能性があり、持続可能な地域公共交通の構築に向けた新たな交通手段として期待されます。

※「AI運行バス」：人工知能（AI）によるリアルタイム処理の活用により、需要に応じ、最適な時間に、最適なルートで、最適な運行を行う、NTTドコモの提供するオンデマンドモビリティサービスのサービス名称です。ドコモと株式会社未来シェアが共同開発を進めているモビリティサービスプラットフォームにより実現します。

江差町 「江差マース」実証事業

新栄町

豊川町

愛宕町

東山

桧岱

中歌町

にお住まいの方限定

ご自宅からご目的地まで、好きなときに気軽に移動！便利に買物！

2/1~「江差マース」実証運行開始！

運賃
無料！

利用したら
EZOポイント
100pt
プレゼント！

江差マースとは…

みなさまがお住いの「居住エリア」と、お店や病院がたくさんある本町・新地町といった「経済エリア」をハイヤーでつなぐあたらしい移動手段です。

ハイヤーは運行時間中であればいつでも好きな時間に携帯電話かアプリで呼ぶことができ、ご自宅の前まで迎えに来るので、登録した行先・目的地まで「便利で快適に」、「無料でお得に」移動ができます。※目的地・乗降拠点一覧は裏面でご確認ください



予約は簡単、3ステップで完了！！

① 事前登録する

(江差町役場まちづくり推進課)

② 予約する

- ・電話かスマホアプリで予約
- ・乗車、降車拠点Noを入力
- ・迎車希望時間、人数を入力

③ 乗車する

- ・予約乗車時間が来たら、乗車拠点の外で待機
- ・名前を伝えて乗車

④ 移動する

- ・予約時に指定した降車拠点へ
- ・降車拠点から目的地へ移動
- ・お買物、通院などご自由に！

江差町「江差マース実証事業」

江差マース実証実験 対象エリアマップ



ご利用の際の注意事項

- ▶ “江差マース”は北海道経済産業局「令和3年度 北海道におけるMaaS実装化に資する収益循環モデルの事業性調査・分析事業」をサツドラホールディングス株式会社が受託し提供するものです。
- ▶ 上記事業性調査・分析のための利用者ヒアリング、利用風景の撮影など各種の記録をおこないます。素材については対外的な公表にも活用する可能性もございますが予めご理解ご協力をお願いします。
- ▶ ご利用をされる際は「利用申込書」の記入・提出が必要となりますので、右記「江差町まちづくり推進課」にお問い合わせください。
- ▶ “江差マース”利用に際しての通信料、通話料はご利用者様負担となりますので予めご了承ください。
- ▶ “江差マース”の利用に際してはEZOCA番号が必要になります。EZOCAカードをお持ちでない場合は新たに発行が必要がございますのでお近くのサツドラ、EZOCA加盟店にて発行ください。
- ▶ EZOポイントは利用回数に限らず、ご利用1名様に対し100ptが2022年4月中旬までに自動的に付与されます。
- ▶ 本サービスは有限会社松山ハイヤーの車両（ジャンボハイヤー）にて運行をおこないます。
- ▶ 乗り合いが発生する関係上、予約時に指定した乗車時間が前後する可能性がありますので予めご了承ください。
- ▶ 対象地区は居住エリア(新栄町、豊川町、愛宕町、東山、松岳、中歌町)と経済エリア(中歌町、姥神町、上野町、橋本町、本町、新地町、茂尻町、円山)の移動のみ使用可能です。

営業日

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	4	5

- ・運行期間：2022年2月1日-28日
- ・運行時間：8時～16時まで

お問い合わせ

【電話予約（自動音声）】
050-3174-6443

【サービスに関するお問い合わせ】
・江差町まちづくり推進課
0139-52-6712

※配車予約を江差町役場にて
行うことはできません



予約する方法(最大乗車人数は5名です。)

- 電話予約（自動音声）
- スマホWEBアプリで予約

受付電話番号
050-3174-6443

※自宅住所やご利用の電話番号等の利用者登録が必要となります

1. 希望日にちを入力してください
(今すぐは1、本日は2、明日は3)
2. 配車希望時刻を入力してください
3. 出発地を入力してください
4. 到着地を入力してください
5. 乗車人数を入力してください

1. WEBアプリからログインする(上記QRコードより)
ID: EZOCA番号 (EZOCAカード裏面の数字13桁)
パスワード: 申込書記載の電話番号下6桁を入力
2. 乗車位置を設定する
地図上の★印(ランドマーク)から乗車希望位置を選択し、「ここを出発地にする」をタップ
3. 降車位置を設定する
地図上の★印(ランドマーク)から降車希望位置を選択し、「ここを目的地にする」をタップ
4. 希望日時・乗車人数の設定
希望日時(出発/到着/今すぐ)と乗車人数を設定しての内容で申し込むをタップ
5. 配車の確定
お申し込み時刻、到着予定時刻、乗車人数等を確認、よろしければ「確定」をタップし配車を確定。
※時間内に確定しない場合は、入力が無効になります

受付完了!! ご予約のお時間になりましたら乗車地点の外でお待ちください

【運行時間】平日8時から16時まで(10日・17日は除く)
【予約受付】当日分&翌日分、1人当たり最大4件まで予約が可能(24時間受付)

参加者目線で

「望む交通体系」とは？

「取り組み内容」を考えてみよう。



考える視点

20分

対象者

町民
観光客
移住者

…etc

対象年齢

子ども
現役世代
高齢者

…etc

目的

利便性向上
経済性向上
町イメージ向上

…etc

一旦置いておきましょう

課題

・可能な事業者 ・財源 ・利用されるか？

望む「交通体系」で挙げた意見（抜粋）

赤井課長より

- ・廃線まで3年間であるが、令和5年度で話を詰めていきたい。
- ・10年、20年先を見た交通を考えてほしい。

特徴的な発言

- ・「たまに使う」や「便利」がキーワード
- ・高齢者の方は「買い物のバス」など、目的があるバスツアーのような形が良いかもしれない。
- ・そもそも、目的地となるような取り組みが必要。夜高会館を通年の見学利用に対応できるような。
- ・バス停をカッコよくするなど、写真を撮りたくなる需要喚起も必要。

・ 望む「交通体系」発言一覧

- ・みらいと一くに集まる人の9割9分は普段は車を使い、それが便利である。
- ・自分ごととしては落とし込めない。年配の方や子どもが身近にいないと。
- ・簡単に言えば、今のJRと同じ時間でバスが走ってくれれば良い。
- ・沼田町では、基本的には深川に行ければ、札幌や旭川などその後の接続は容易である。
- ・年1~2回、札幌や新千歳空港に車で行けないときに使えるバスなどがあると便利。
- ・現在のバスでもたまに使いたくても「どうやって乗って良いか分からない」という人は多いと思う・JRは乗らないので廃線となった。バスも同じ利用率ならば維持できない。
- ・現在バスを利用していない潜在的なユーザーを増やすことが重要であると思う。
- ・「たまに使う」がキーワードだと思う。
- ・学校や病院へのバスは必須なため、町が対応すると思う。
- ・年数回の方が使いやすいサービスが「便利さ」となるのではないか。
- ・例えば年1回だけでも、1千円払えばタクシーで札幌まで送ってくれるようなサービスなど。
- ・「便利」という視点では、朝6時台や7時台、夜7時や8時にハイエースで深川市まで送迎してくれるようなサービスがあると使いやすいかと思う。一家族が荷物付で移動できるような。
- ・「便利」なサービスは、バスというよりもタクシーのようなものになると思う。
- ・移動というだけならば、秩父別のバス停留所から札幌までの高速バスがあるので、秩父別までの足の確保という考え方になる。
- ・逆に、公共で何でも可能というサービスはないと思う。個人のものではないので。
- ・車がない人、高齢者や子どものことを考える必要がある。
- ・高齢者からは「バスがないから行きたくても行けない」という声はよく聞く。
- ・ほたる館ですら、ほたる館まで行く直通バスがないため行けないとのこと。
- ・高齢者は、スマホも使えない方が多い。
- ・例えば今週のこの日は「買い物に行く日」、この日は「ほたる館へ行く日」のように、ゴミカレンダー等に書かれていれば使いやすい。
- ・朝や夜の移動需要などは、バスで対応出来れば良いかと思う。

・望む「交通体系」発言一覧

- ・JRでよくあったが、運休状況が即座に分からないのは困る。来るのか来ないのかすら分からない。
- ・スマホでLINEにすぐに運休情報が届くと良い。
- ・滝川市への直通があると良い。
- ・北竜の郵便局と滝川市までのバスはある。そういう情報も分かりにくい。さらに、それを沼田まで伸ばしてほしい。
- ・朝の旭川市へ行くJRとの接続も間に合うように、バスの時間を考えてほしい。
- ・ポイントカードも良いとは思いますが、何事も無料にするのはどうかと思う。
- ・「無料だから黙って使って」ではなく、受益者負担として、お金を出して意見を言えたり、サービス受けられる体制にもしてほしい。
- ・札幌行きたい、という希望は個人で負担すればいいかとも思う。
- ・出る時ではなく、戻るときの便利さも重要であると思う。
- ・LINEで予約出来るようなスマホアプリがあると良い。
- ・今ある本数をすべて維持ではなく、朝と夜、間の時間は乗り合いタクシーのようなシステムが良いのでは。
- ・「買い物便」や「病院行き」など、テーマごとに色々なところを回ってくれる、バスツアーのようなものに力を入れてもいいのかもしれない。
- ・現在のバスは、着いたあとに歩くのも本当に大変である。
- ・病院と連携して、この日は”沼田町民を受け入れる日”のような設定があると便利である。出来る限りその日に予約をするような。
- ・あんどん祭りは、お祭りの2日間だけに見る人もやる人も集中している。
- ・当日行けないだとか、その準備の過程も見たいという希望はあると思う。
- ・例えば夜高会館を観光客向けに歩きやすくして展示するなど、目的地化しても良いと思う。
- ・古い資料館などで使っていないのであれば、壊して駐車場にするなどもある。
- ・あんどんやほたるやトマトなどが町のウリとして発信しているが、沼田町民にそれぞれを熱く語れる人がいるのかということも気になる。
- ・あんどんも、ただ集めて展示ではなく、そこに熱い思いも必要であり、その思いに人が集まると思う。

• 望む「交通体系」発言一覧

- あんどん一つとっても、町民はいつ参加していいかわからない、どう参加していいかわからない、となっている。
- 体系的に、総合的に話せる人がいないからかもしれない。
- 今あるものを見つめなおせば、今の沼田でも目的化させることが出来ると思う。
- 点と点をつなげるように人を呼び込めば良い。
- 郊外の方は、会合等の目的に合わせたバスがあれば。

- バス停をカッコ良くするのも一つの手。写真を撮りたくなるようなもの。
- パン屋やキャラクターがあっても良い。
- 沼田町内の方でも、バスの待合所の塗装をやった方がいる。
- 地域おこし協力隊のみなさんだけでなく、地域内にいる方がもっと地域おこしに関心を持ってもらえるように。

鉄道資産活用について

参加者目線で

「鉄道資産活用」事例紹介

道の駅

足寄町 [足寄町道の駅](#)

観光鉄道

陸別町 [ふるさと銀河線りくべつ鉄道](#)

美深町 [トロッコ王国美深](#)

士幌町 [森のトロッコ エコレール](#)

<http://www.ecorail.jp/>

鉄道資料館

平取町 [振内鉄道資料館](#)

(更地) ウォーキングコース

兵庫県西宮市 [福知山線廃線敷ウォーク](#)

沼田町周辺においても…

増毛 [増毛駅孝子屋](#)

三笠市 [三笠鉄道村](#)



近隣の新十津川の例では・・・

跡地活用の基本方針

- 市街地の分断解消・交通アクセスの改善
 - ・学校、病院へのアクセス改善
 - ・国道、道道、町道南4号線へのアクセス改善
- 子ども、高齢者、周辺住民の憩い、交流の場
 - ・町の中心部にある貴重な自然を活かした広場
- 市街地周遊の滞留拠点
 - ・情報発信機能など
- 終着駅の記憶と風景の継承
 - ・鉄道施設の保存
 - ・モニュメントなどの設置
- 観光・文化施設のネットワーク拠点
 - ・観光、文化施設の一つとしての広場



新十津川駅跡地活用検討会

ご意見を募集します

基本構想の策定は、今後の新十津川町のまちづくりと密接な関係があるため、跡地活用の基本方針について、広く皆さんの意見を募集します。

募集期間 1月10日(金)～24日(金)

提出方法 任意様式で、役場建設課に直接またはメール、郵便で提出

問合せ 建設課都市管理G ☎76-2139
メールアドレス kensetsuka@town.shintoshukawa.lg.jp

用途地域の変更

新十津川駅跡地の利用に合わせて、駅周辺の都市計画区域（用途地域）の変更を行います。

現在、準工業地域となっている一部を第1種中高層住居専用地域に変更します。

計画案の縦覧

用途地域変更などの都市計画は、都市の将来の姿を決定するものであり、これに沿ってまちづくりが進められます。

そのため、町民の皆さんへの周知（計画案の縦覧）と意見募集を行います。

縦覧期間 1月10日(金)～1月24日(金)

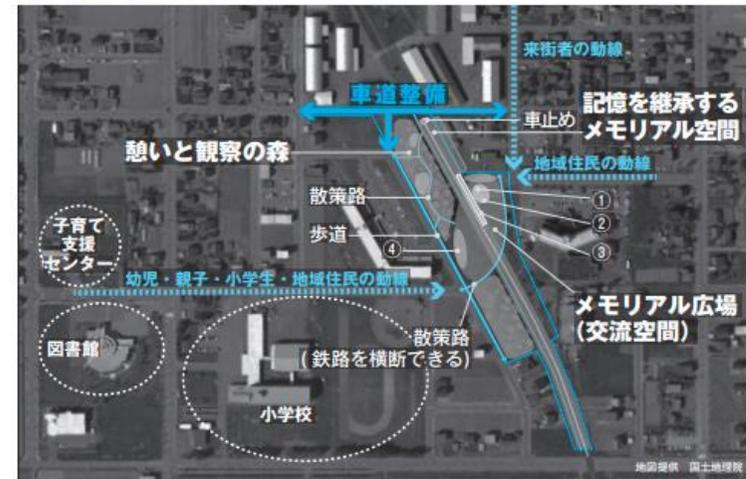
縦覧場所・問合せ 建設課都市管理G ☎76-2139

新十津川駅跡地の活用

町では、JR札幌線（北海道医療大学駅～新十津川駅）の廃線が決まったことから、今年度、新十津川駅周辺の跡地活用の基本構想を策定します。

これまで地域や関係団体の方々による、新十津川駅跡地活用検討会を2回開催しています。3月に基本構想を策定する予定です。

新十津川駅跡地周辺の将来像（案）



①シンボルとなるホオノキ
②交流の場

③駅ホームの保存
④植栽

参加者目線で

「鉄道資産活用」とは？

「取り組み内容」を考えてみよう。



考える視点

20分

対象者

町民
観光客
移住者

…etc

対象年齢

子ども
現役世代
高齢者

…etc

目的

利便性向上
経済性向上
町イメージ向上

…etc

一旦置いておきましょう

課題

・可能な事業者 ・財源 ・利用されるか？

「鉄道資産活用」で挙げた意見（抜粋）

特徴的な発言

- ・石狩沼田駅をビール製造を行い、実際に飲める場にする取り組みがある。
- ・雇用を増やし、経済を回し、得た利益を子どもに投資できるような取り組みとしたい。
- ・線路を道路にするのも良いかもしれない。あんどん祭りが見やすくなる。
- ・沼田の資源を使うにしても、しぼりたてのトマトジュースが飲めるといったような、特徴的な取り組みが必要。
- ・必要とされる機能について、詳しい方の話を聞く必要もある。

・「鉄道資産活用」発言一覧

- ・大学で廃線後の取り組みを調べた研究があった。カフェや交流広場になったが、年数とともに人が集まらない場所になっていく傾向があった。
- ・石狩沼田駅舎をビール工場にしていくという取り組みがあまり伝わっていないようで悲しい。
- ・働き手としての人が集まり、ビールを目当てに人が集まり、大人に連れられて子どもが集まるような場を目指している。
- ・アルコールは車ではなく、公共交通機関を使うことにもつながる。
- ・ビールの売り上げも、子どもに投資出来るようにしたい。
- ・アイデアを言ったとしても、流される環境ならば誰もアイデアを言わなくなる。
- ・カフェだけでは誰も来ないと思う。
- ・資料館も、どこにでもありふれたものになり、わざわざ作る必要があるのかと思う。
- ・お金があるから、とか、事業費だけで考えない方がいい。
- ・モノをつくれれば維持管理のお金がかかる。
- ・まとまって一つのことが出来るようになれば良い。
- ・子どもたちの遊ぶ場所は現状、まちなかほっとタウン。お菓子も買えるし、トイレもある。みんなで集まる。
- ・駅のトイレの利用は思っているより多い。トイレを借りられるイメージが強い。
- ・レールを利用した発電が出来て、その電気を地ビールの製造に使えたり。
- ・敷地や設備などはどこまで
- ・基本的には所有者であるJR北海道の持ち物であるが、使用の用途により、譲渡を協議することは可能と聞いている。将来的な維持管理もかかるが、用途が決まれば交渉が可能と思う。
- ・単純に線路が道路になると近道となる。少し幅を広げればあんどん会場やまつり会場ともなる。
- ・駅線路場であんどんのケンカが見られたりとかすると面白い。
- ・高台にもなっているので、町を見渡せる。冬は雪捨て場としてもいい。

・「鉄道資産活用」発言一覧

- ・便利さ、という観点でいくと駅にセブンイレブンが入ればみんなが来る。24時間でATMがあれば。
- ・駅舎を地ビール工場に改装した場合、法律的にそこで販売まで出来るのか。
- ・酒販の免許は場所につくため、可能かと思われる。実施する者が賃貸契約などで場所を借りられれば。
- ・ビールを作っている場所で飲むことまで出来れば大変面白いと思った。
- ・面白くビールを販売したり飲むことが出来る場所であれば、トイレ以外の需要も取り込めると思う。
- ・ふらっと立ち寄れる場所を目指すなら、駐車場も必要。
- ・さらに、駅から何かに代わるシンボルもあれば。ビールでもトマトジュースでも良い。
- ・トマトジュースでも、例えば搾りたてが飲めるなど、少し違うことが出来ればなお良い。
- ・町民が遊ぶ場所、働く場所、産業に慣ればそれが別のサービスにつながる。
- ・沼田町というPRにもつながる、という考えがある。
- ・まちのこだわりであんどん、ほたるがあるのであれば、それを使う。
- ・雪を使ったみんなの冷蔵庫。日本一大きい雪の冷蔵庫がある、など。
- ・子どもが来られると良い点
- ・町民が関われるものあれば。
- ・ビールの売り上げをぬまたの子どもたちに使っていきたい。
- ・ビールをただ売りましょうではなく、飲まない人も子どもたちに貢献できるような仕組みをもった産業にしたい。
- ・親が飲めば飲むほど、観光の方が買えば買うほど、沼田や子どもたちが喜ぶような形にしたい。

赤井

- ・大事にされてきた鉄道があり、そこを活用するという視点は町民からも理解され、そこに活動が生まれる整備だと理解される。そこにもっていきたい。

・「鉄道資産活用」発言一覧

- ・ターゲットも一般観光客なのか、マニアのような方なのか。
- ・1回見て終わり、という形にはしてほしい。陸別の観光鉄道も何度も訪れる方がいる。
- ・札幌大通り公園の公園馬車のような取り組みもあり。沼田から真布駅間でも。
- ・町の人が誇りをもって、PRしていく形にしたい。町外からも人が来ないと外貨も必要。
- ・必要とされる機能について、マニアのような方からも話を聞く必要がある。
- ・サービスを勉強する機会を道内だけではなく、道外の事例から得る必要もあるかもしれない。
- ・沼田の取り組みも、詳しく聞くとすごいことをやっている。ほたるもトマトの取り組みも。もっと知らない。
- ・取り組みを行うことに注力しているが、それを広めていくことも必要だと思う。
- ・頑張っている方に任せきりだけではなく、住んでいる人が協力して行っていない。
- ・評判などはあるが、広めるのは女性の方が得意な分野だったりもする。
- ・沼田のブランド化はみんなで取り組むこと。
- ・例えばニセコは地味な農村だが、表向きは華やかなリゾート地。
- ・ホテルの方や大人、子ども、すべての方がブランド化の意識を持って。
- ・役場の会議に呼ばれても、シナリオが用意されているものであり、何を言っても変わらない印象がある。
- ・変わらないならば、誰も来ない。
- ・核となる人や影響力のある人に協力してもらった方が、話は通りやすい。
- ・高齢者の方の意見も聞きたい。服を買いたいという意見も強い。
- ・買い物ツアーや、〇〇さんとのツアーなど、もあって良いかも。
- ・町民は「住みたい町ナンバー1」も知らない
- ・商品券のような取り組みだけではなく、困ったことに寄り添えるような事業があっても良いと思う。

・「鉄道資産活用」発言一覧

- ・安心センターのように、お金を払ってでも健康に気を使いたい方も増えている。
- ・やってほしい、という希望を実現してほしい。例え失敗したとしても。
- ・町の人が困っていることはたくさんある。
- ・聞いてくることは可能である。

課長

- ・安心センター周辺を整備した時もそうだが、役場の考え方も土台にはある。
- ・鉄道廃線はゼロベースから意見を出し合っていた。
- ・町民の皆さんから話を聞いて、
- ・5年後、10年後、20年後のまちづくりを見据えて考え、そこにいくらの投資を行っていくかのルールを引きたい。
- ・今後も参加して良かったな、もう少し話したいという会議体を目指したい。
- ・20名に限らずもしよろしければ
- ・同じメンバーだけではなく、入れ替わり立ち代わり行っていきたい。
- ・よろしくお願ひしたい。

～クローズ～

お疲れさまでした。

今回、取り組みの方向性が見えてきました。

次回は、**取り組みを実現させるには、
どのような点に考慮する必要があるか**
考えてみたいと思います。

来年度も是非ご参加ください。